

プログラム活用の魅力と効果は？

保護者にとって

保護者同士のコミュニケーションが十分に図れます。

保護者同士の交流が深まります。

悩みや不安が小さくなり、気持ちが楽になります。

子どもの理解や学校理解につながります。

家庭教育について、新たな気づきの場となります。

自分自身の子育てをふりかえることができます。

学校にとって

保護者懇談などが進めやすくなります。

PTA行事の参加率が上がります。

保護者の様々な考えを理解することができます。

保護者と学校との距離が縮まります。

学級懇談会で保護者同士の話し合いがスムーズになります。

地域の方の気持ちや考えを理解する場となります。

社会教育主事有資格者の活躍の場となります。

聞いてみよう！実践校の声！！



宇都宮南高等学校
北村裕子先生

このような講演会を企画しようとする、何となく業務が増えるように感じ、消極的になるかもしれません。実際は、これまでの行事を少し工夫することで実施することができ、実施後は、保護者間のつながりができるとともに、学校と保護者の相互理解につながり、保護者との関係が良くなると感じました。このことで、仕事もやりやすくなったと感じています。



大平南中学校
福地達也先生

自分がファシリテーターをやることに不安もありましたが、実際にやってみると、保護者の率直な意見を聞くよい機会となり、時間があっという間に過ぎてしまいました。また、保護者との距離がぐっと近くなったような気がします。受験前は、保護者もいろいろな不安を抱えますが、お互いに情報交換できたことで安心したようです。学校にとっても、保護者にとっても成果のあるプログラムなので、本校では、2学年PTAでも取り入れることにしました。他の先生方にもぜひ実施していただきたいプログラムです。



黒磯高等学校
寺澤三枝子先生

保護者の方々がとてもパワフルで、皆さん輝いた顔をしていることにとても感激しました。実施後の感想にも書ききれないほどの思いが伝わられ、参加型研修のメリットを感じました。子育ての不安や疑問はどの御家庭でもあるようですが、それを言葉にすることで、保護者自身の不安感の軽減や同じ世代の子どもを持つ親同士のつながり、子どもとの接し方に何らかのヒントや気づきを得られた様子です。PTA行事への参加率も上がり、活動が盛り上がってきました。



落合中学校
村上徳史先生

最初はみなさん緊張されていましたが、話し合いが進むにつれ徐々に自己開示するようになり、様々な思いをグループの方々に話していました。一番感じたことは、プログラムの最初と最後ではみなさんの“表情”が違うということです。それは心の変化の表れだと思います。このプログラムの実践を通じて、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。このような機会を設けることで、保護者間のつながりが強まり、より充実した教育が実現されると思います。